

ICT 委員会レポート

Winter2017

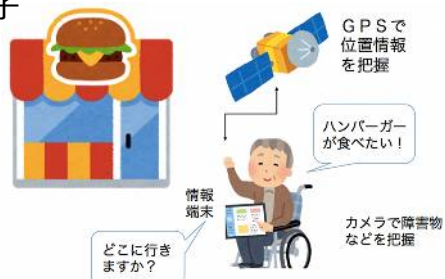
12/20号 NO.1

今年度より ICT 委員会が発足しました。初回レポートは、委員が西日本国際福祉機器展や九州ホスピタルショーで見たイチオシの ICT を活用した福祉機器をご紹介します。

介助なしで自由に外出を楽しめる対話可能な
自動運転車椅子

インテリジェント
モビリティ
システム

久留米工業大学



江口 賢子

充電パック2個で6時間。ちょっとした外出ができ、道が分からなくなっても帰れるところがGOOD

「介護施設記録支援システム」
介護記録・帳票等の事務処理の
負担を軽減

すま〜人！
Helper



楠瀬 浩平

会場でデモを試しましたが、割と簡単にタブレットで入力でき、業務効率化に有効だと感じました

センサーマットを敷くだけで心拍、呼吸、
体動などの情報を詰
所のモニターに送信

aams
アアムス



下村 幸孝

夜勤スタッフの巡回が逆に利用者の眠りを妨げる、そんなことがなくなると思います

“電動ケアベッド”と“電動リクライニング車いす”が融合した新発想ロボット

リショーン
Plus

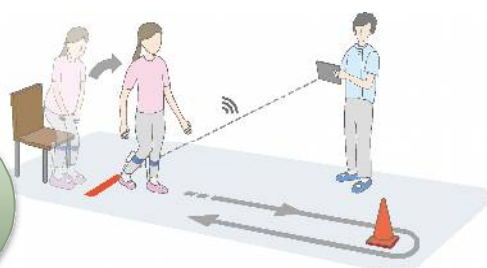


常岡 保洋

シャワーチェア、ストレッチャーなどにも安全安楽に移動できるようになったらいいと思います

高齢者の歩行能力を簡単に測定・自動で記録

Pit Care
ピットケア



濱崎 陽介

靴に専用のインソールをセットするだけで簡単に測定ができます

難聴者とのコミュニケーションの改善
を話者側から
アプローチ

Comuoon



藤野 裕子

スピーカーから出る音は本当にクリアで誰にとっても聴こえやすいまさにユニバーサルデザイン